

雌阿寒岳の火山活動解説資料

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

雌阿寒岳で、ごく小さな噴火が発生しました。噴火の発生地点はポンマチネシリ 96-1 火口及び第 4 火口で、噴火に伴う降灰がポンマチネシリ火口の北～東～南東にかけて確認されました。

雌阿寒岳では火山活動が引き続きやや高まっており、今後もしごく小さな噴火が発生する可能性がありますので、火口から約 500m の範囲内では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では、少量の降灰に注意が必要です。

平成 20 年 11 月 17 日 14 時 30 分に火口周辺警報（火口周辺危険）を発表しています。

○ 活動概況

本日雌阿寒岳でごく小さな噴火が発生しました。北海道が阿寒湖畔に設置している遠望カメラにより、空が明るくなった 5 時 30 分頃から、ポンマチネシリ火口から灰色の噴煙が出ているのが観測されました（図 1、2）。その後、15 時現在まで、ごく小さな噴火が継続しています。本日発生した噴火は、11 月 18 日に発生したごく小さな噴火よりは大きく、2006 年 3 月 21 日の噴火よりもやや小さい程度でした。雌阿寒岳で噴火が確認されたのは、11 月 18 日以来です。

北海道の協力を得て実施した上空からの観測によると、ポンマチネシリ 96-1 火口および第 4 火口から灰色の噴煙が上がっており、ごく小さな噴火が発生していることが確認されました。ポンマチネシリ火口の北～東～南東にかけて降灰が確認されました（図 3、4）。

本日、釧路地方気象台及び網走地方気象台が山麓での降灰調査を行いました。東側の山腹（ポンマチネシリ火口から 4 km 付近）で、微量の降灰を観測しています（図 5）。

その他の観測データによると、雌阿寒岳では今月 11 月 17 日以降、断続的に火山性微動が観測されており、本日も 00 時 52 分頃から 06 時 32 分まで、及び 11 時 07 分頃から（15 時現在継続中）火山性微動が観測されています（図 6）。

空振計では、噴火に伴う振動は観測されていません。

GPS による広域の地殻変動観測では、特段の変化は観測されていません。

雌阿寒岳の火山活動は引き続きやや高まった状態となっており、今後も火口から約 500 m の範囲内に弾道を描いて飛散する大きな噴石が飛散する可能性があります。また、風下側では、少量の降灰の可能性があります。

なお、本日実施した上空からの赤外熱映像観測¹⁾では、ポンマチネシリ 96-1 火口や第 4 火口付近以外での地熱域の状況に特段の変化はなく、GPS による広域の連続観測では特段の変動は観測されていない等、より大きな噴火が発生する兆候はみられていません。

今後の火山活動の状況等については、11 月 29 日 16 時頃に発表する火山の状況に関する解説情報でお知らせします。

火山活動に変化がみられた場合は、随時、お知らせします。

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

※ 資料は気象庁のほか、北海道大学、北海道、北海道立地質研究所のデータを利用して作成しています。



図 1 雌阿寒岳 遠望カメラによるポンマチネシリ火口付近の状況（11 月 28 日 07 時 50 分 図 5 の上徹別より撮影）



図 2 雌阿寒岳 遠望カメラによるポンマチネシリ火口付近の状況（11 月 28 日 08 時 23 分撮影、図 5 の阿寒湖畔より撮影）



図 3 雌阿寒岳 南東側上空から見たポンマチネシリ火口からの噴煙及び南東～東側斜面の降灰状況（11 月 28 日 11 時 34 分撮影、北海道の協力による）

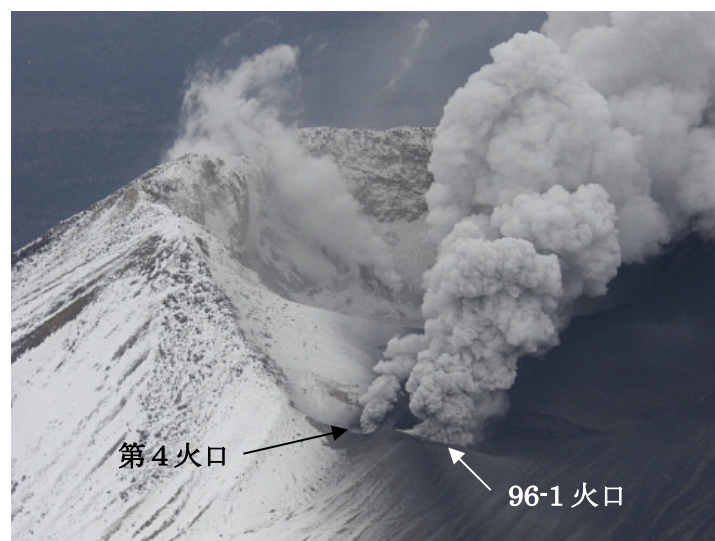


図 4 雌阿寒岳 南側上空から見たポンマチネシリ火口からの噴煙及び火口付近の降灰状況（11 月 28 日 11 時 51 分撮影、北海道の協力による）

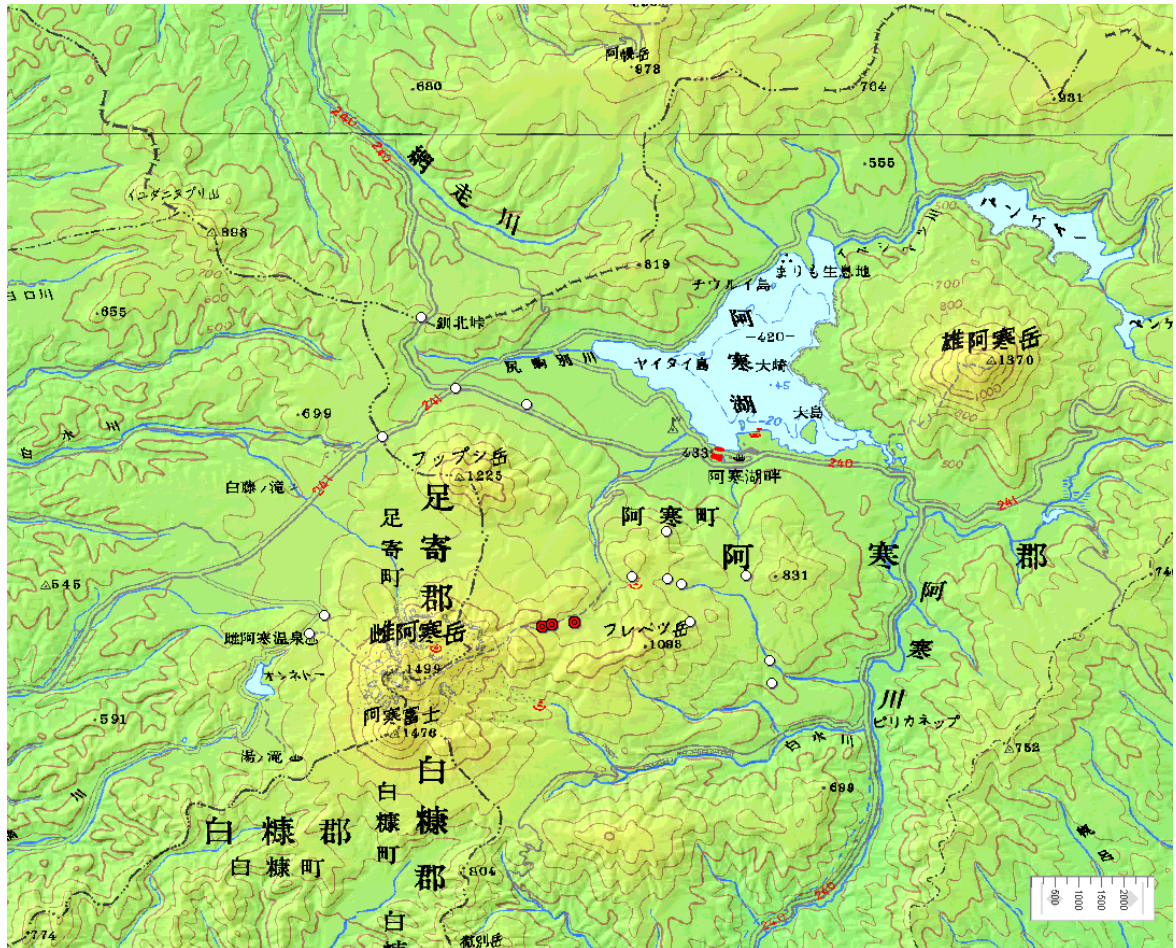


図5 雌阿寒岳 山麓・山腹での降灰調査結果

- ◎：降灰あり（いずれも微量）
- ：降灰なし

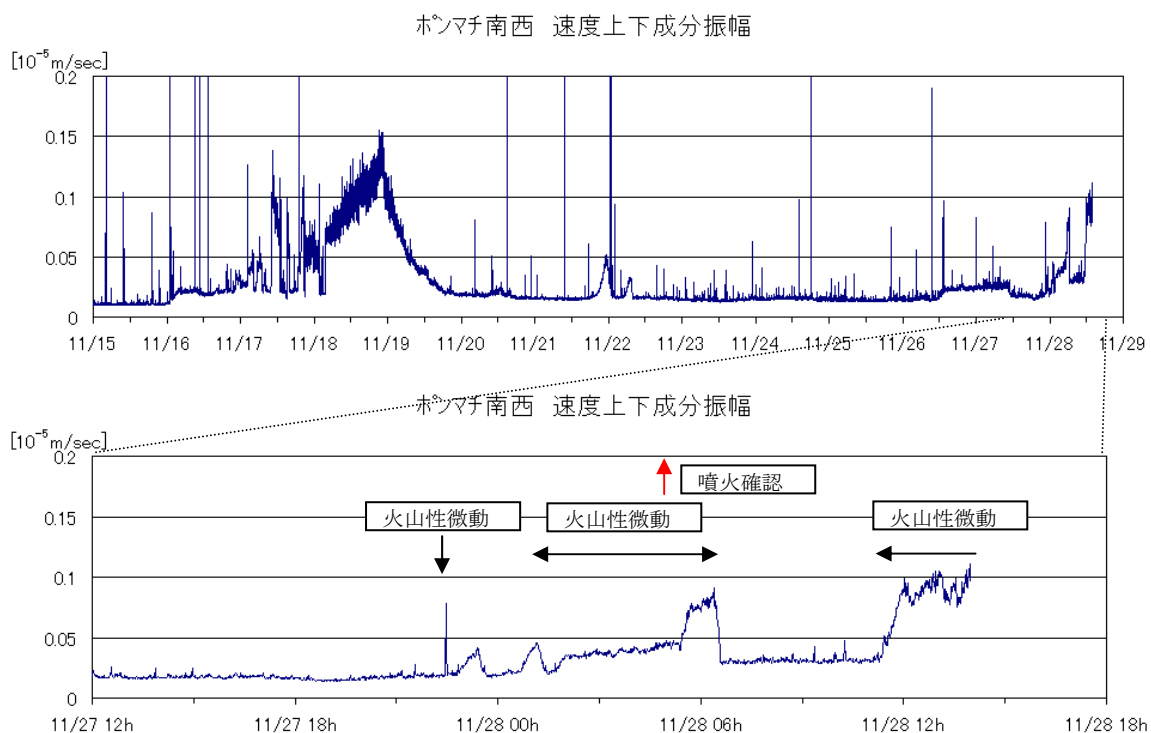


図6 雌阿寒岳 火山性微動の発生状況（ボンマチ南西観測点の上下動成分の1分間平均振幅）

上段：2008 年 11 月 15 日 00 時～11 月 28 日 14 時

下段：2008 年 11 月 27 日 12 時～11 月 28 日 14 時

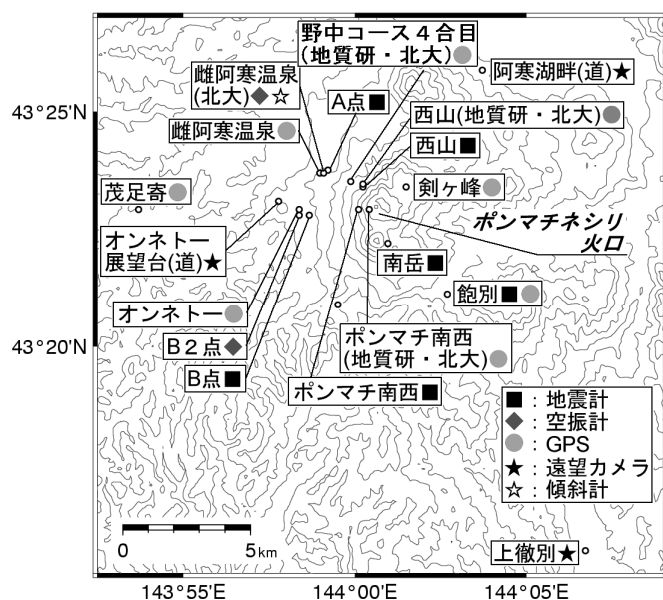


図7 雌阿寒岳 観測点配置図

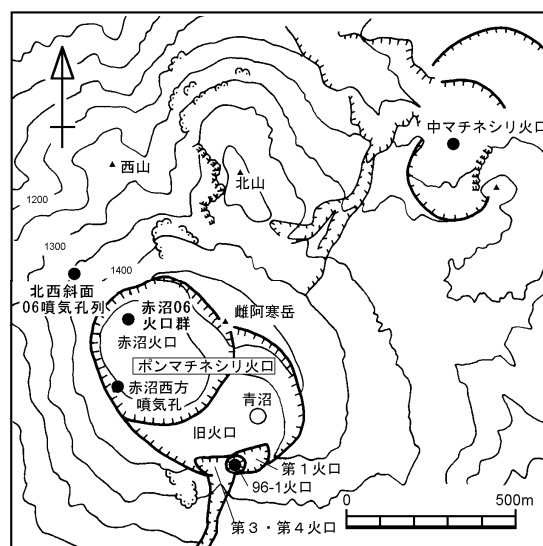


図8 雌阿寒岳 火口周辺図